

2005年3月24日  
株式会社クラレ

## 組織改定の件（2005年4月1日付）

当社は次の通り組織改定を行いますので、お知らせします。

### 1 組織改定の方針

当社は、中期経営計画「G-21」の最終年度を迎えるにあたり、同計画の業績目標・経営課題の必達を期すとともに、ポスト「G-21」の新たな方向性を定めるべき磐石な体制を構築するため、以下の通り組織改定・人事異動を行います。

#### 組織改定のポイント

- 1 2002年に導入した「カンパニー制」を継続しつつ、より大きな事業セグメントで長期的視野に立った戦略的事業運営を図るため、カンパニーの上位機関として「部門」を設置し、部門担当を置く。
- 2 新事業の創出を加速するため、新事業企画本部と研究開発本部を組織的に一体化し、「新事業開発本部」とする。
- 3 東西両本社制の確立に向けたコーポレート機能の強化、本社業務の改革を推進するための組織体制を整える。

### 2 組織改定の骨子

- 1) カンパニー制下における戦略的事業運営の体制構築
  - ・カンパニーの上位に「繊維部門」「機能樹脂・フィルム部門」「化学品・メディカル部門」の3部門を設置し、それぞれに部門担当を置く。部門担当は、カンパニーを跨るより広範かつ長期的な戦略的事業運営を推進する。
  - ・部門担当は取締役兼上席執行役員とし、部門運営に対し執行責任を持つものとする。
  - ・カンパニーの企画管理スタッフを部門別に集約し、事業戦略スタッフの強化を図る。
- 2) 新事業創出を加速化するための組織改編
  - ・新事業企画本部と研究開発本部を組織的に一体化、「新事業開発本部」とし、現行の開発テーマの絞込みと新事業創出を加速する。
- 3) コーポレート機能の強化
  - ・CSR委員会の事務局機能を組織化し「CSR室」を新設するとともに、同室に環境安全センターと法務部の機能を移管し、環境・安全・品質管理グループと法務・リスクマネジメントグループの2グループ制とする。

- ・監査室はグループ企業を含む内部監査機能に特化することとし、「業務監査室」に改編する。これに伴い、監査室に所属する監査役のスタッフは監査役付とする。
- ・本社業務の抜本改革を短期集中的に推進するため、コーポレート組織として「業務改革推進チーム」を新設する。現行のBPR推進部の機能はクラレビジネスサービス株式会社に移管し、業務周辺の効率化を一体的に推進する。

#### 4) カンパニーの再編～目指す事業ポートフォリオを明確化

- ・ポパールカンパニーを「ポパール樹脂カンパニー」と「ポパールフィルムカンパニー」に分割し、個々の事業戦略を深化するとともに展開を加速する。
- ・機能材料事業部から<ジェネスタ>事業を独立させ「ジェネスタ事業部」を新設、次なる成長拡大への推進を加速する。機能材料事業部は廃止し、<ジェネスタ>以外の事業は新事業開発本部の「プロジェクト推進部」に移管し、次なる事業展開の可能性を見極める。
- ・エパールカンパニーのPET樹脂事業を、クラベラ事業部に移管する。
- ・繊維資材カンパニーのクラフレックス事業部を廃止、生産子会社のクラフレックス株式会社と統合し、<クラフレックス>(不織布)事業の開発・生産・販売の一体運営を強化する。

### 3 組織改定の内容 上記2に記載した以外の改定内容

#### <経営統括本部>

- (1)法務部の機能をCSR室に移管し、同部を廃止する。
- (2)SAP関連業務の効率化を推進するため、BPR推進部の機能をクラレビジネスサービス(株)に移管し、同部を廃止する。

#### <新事業開発本部>

- (1) 新事業開発本部に事業企画部、開発企画部、プロジェクト推進部、倉敷事業所膜生産開発部、知的財産センター、くらしき研究所、構造解析センター、つくば研究所およびオプトデバイス商品開発センターを置く。
- (2) 事業化加速のため、プロジェクト推進部に事業化推進中の各プロジェクトに対応するグループを置く。
- (3) 研究所の職務機能効率化を図るため、テーマの再配置を行い、構造物性研究所を構造解析センターと改称する。  
同センターに分析・解析グループ、酢ビ系機能材料研究開発グループを置く。

#### <技術本部>

- (1) 環境安全センターの機能のCSR室統合に伴い、同センターを廃止し、環境・技術本部を技術本部とする。

- (2) グローバル化の進展に伴い、海外技術開発のサポート体制充実のため、企画管理部に海外技術グループを置く。

< 繊維部門 >

事業戦略スタッフの強化を図るため、企画管理部を置く。

< 繊維部門繊維資材カンパニー >

- (1) クラフレックス事業部を分離、クラフレックス(株)と統合し、クラレクラフレックス(株)とする。これに伴い、産業資材事業部を廃止する。
- (2) 企画管理スタッフの部門統合により、企画管理部を廃止する。  
これに伴い、生産・品質管理、技術サービス等を所管する生産管理部を置く。
- (3) 産業資材分野の新規市場開拓とマーケティング戦略推進のため、市場開発部を置く。

< 繊維部門クラリーノカンパニー >

- (1) 企画管理スタッフの部門統合により、企画管理部を廃止する。
- (2) 自動車分野への本格参入推進のため、開発部基礎技術開発グループを同部新規プロセス開発グループに統合し、同部にカーシート推進グループを置く。

< 繊維部門クラベラ事業部 >

エパールカンパニーからのPET樹脂事業移管のため、原料販売部に樹脂販売グループを置く。

< 機能樹脂・フィルム部門 >

事業戦略スタッフの強化を図るため、企画管理部を置く。

< 機能樹脂・フィルム部門ポパール樹脂カンパニー >

- (1) 企画管理スタッフの部門統合により、企画管理部を廃止する。
- (2) ポパール販売部は国内販売に特化し、販売第一グループ及び販売第二グループの2グループ制とする。
- (3) グローバル化の進展に伴い、ポパール販売部海外グループを海外統括部とする。
- (4) PVB事業のアジア地域のマーケティング及び本格拡販展開を推進するため、ポパール販売部PVBグループをカンパニー直轄とする。
- (5) 商品開発及び技術サービス機能の統合、開発プロジェクト推進のため、ポパール販売部の開発グループと海外グループの技術サービス機能を統合し、商品開発部とする。
- (6) 倉敷事業所研究開発部はポパールグループとPVBグループの2グループ制とする。

<機能樹脂・フィルム部門ポバールフィルムカンパニー>

ポバールカンパニー倉敷事業所研究開発部フィルムグループとフィルム販売部開発グループを統合し、ポバールフィルムカンパニー倉敷事業所研究開発部とする。

<機能樹脂・フィルム部門メタアクリルカンパニー>

- (1)企画管理スタッフの部門統合により、企画管理部を廃止する。
- (2)生産技術開発の効率的運営のため、中条事業所メタアクリル技術部を技術本部中条事業所生産技術開発部に統合する。

<化学品・メディカル部門>

事業戦略スタッフの強化を図るため、企画管理部を置く。

<化学品・メディカル部門化学品カンパニー>

企画管理スタッフの部門統合により、企画管理部および事業企画グループを廃止する。

<ジェネスタ事業部>

- (1)ジェネスタ事業部に企画管理部、販売部、開発部を置く。
- (2)責任体制の明確化と自動車分野の拡大促進のため、販売部に電気・電子グループと自動車グループを置く。
- (3)開発加速化を実効的に行なうため、企画管理部に技術開発グループを、開発部に成形加工開発グループと材料技術開発グループを置く。

<事務所>

国内事務所の効率的運営を図るため、福井事務所を廃止する。

以 上